



◀ 加熱によって変形している



◀ 完形品

種別	市指定 有形文化財（歴史資料）
名称	わかがみ(きくえださんそうちょうきょう) 和鏡（菊枝散雙鳥鏡）
員数	2面
大きさ	写真(右):直径 11.2cm 厚さ(外縁部) 1.0cm 重量 300.6g (完形品) 写真(左):直径 8.0cm 厚さ(外縁部) 0.6cm 重量 127.7g (加熱により変形)
指定年月日	昭和59年7月1日
所有者	最花町内会
所在地	むつ市大字田名部字最花

和鏡2面は下最花玉邦山照徳神社敷地造成のときに出土したと伝えられている。下北半島でも確認されている和鏡は数少なく中世(鎌倉～室町時代)の資料として貴重である。2面とも鈕孔があり、小さい和鏡は火災に被ったのか火熱で熔けている。現在は桐箱に納められている。